

いのちの森文化財団 様 水輪ナチュラルファーム 様

塩澤研一様 みどり様

新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新しい生活棟の完成、おめでとうございます。どの場所に建ったのだろう…と想像しています。

去年は塩澤様ご夫妻はじめ、スタッフのみな様と本当に素晴らしい出会いに導かれて、このように交流をさせていただくことが出来、保育園としても、個人としても大変嬉しく感謝しております。

真心のこもった力強いご支援をいただきましことに、衷心より御礼申し上げます。

寒さの厳しさは、南相馬市に住んでいては想像が付きませんが、どうか体調が整えられ、守られて、穏やかに過ごされますようお祈りいたしております。

園児はインフルエンザの流行もなく、みな元気に登園しています。1月4・5日は登園児は少なかったですが、月曜日7日には、元気な子ども達の顔が揃うことでしょう。

去年のクリスマス会には、燭火礼拝をはじめ劇や演奏、歌などを純真に演じる子ども達の姿をみて、子どもの命を守る私たちの役目の重さを、あらためて感じました。また、一人ひとりが健やかに成長をして欲しいと願わずにはられませんでした。

原発立地の双葉町の町長さんは、仕事始めの訓示で、「帰還まで30年」とする方針を示しました。土地や財産だけでなく、希望をも奪われてしまった福島の人々

の気持ちを無視するかのように、原発再稼働の話がふつふつとしているのは、言い知れぬ不安を覚えると同時に、事故後の募る不信感がまた蘇り、前進したいと思っている気持ちを、振り出しに戻されたような気がいたします。

「希望は、持つものではなく信じることである。」という言葉聞いたことがあります、信じられないという苦しみは、何がないというようなことよりも深く、正に希望を見出せない暗闇の中に閉じ込められた思いがいたします。

しかし、このような中にあっても進むべきところは、前しかないということを再認識しております。

このようにして、子ども達と日々平穏に過ごせることは大きな恵みですから、この年も職員一同子ども達の幸せを願いつつ頑張ってまいりたいと思います。

献金は本当に僅かでしたが、私達も誰かのためにと心を向け、思い、考えて行動が出来ることは喜びでもあり、励みにも繋がりました。こちらの方こそ感謝申し上げます。

本年もお世話になります。いのちの森文化財団・水輪ナチュラルファームの皆さまのご健康が守られ、新しい年のご計画の全てが祝福されますようお祈り申し上げます。

2013年1月6日

原町聖愛保育園

遠藤美保子